女性への寄り添い支援「たよリス」【四日市市】

個別事業費 交付金額

1,998 千円

4,660 千円

地域の実情と課題

本市は全国有数の産業都市として、多くの大企業が立地しているた め、転勤等により転入した人も多く、慣れない土地や知り合いが少 ないことで不安を抱える女性もいる。このような中、困難に直面した 女性への支援や、地域におけるさらなる女性活躍の推進に向けて 、より一層の取り組みが求められている。

目的•目標

LINE友達登録者数は目標値の350人に届かず、339人である一方 、SNS相談件数は、目標の250件を上回る307件であった。昨年度 と比べ、繰り返し相談される人が多い傾向にあると考えられる。ま た、居場所の提供においてはのべ36人が参加し、昨年度の1.5倍 となった。

事業の特徴

(1)SNSを活用した女性相談窓口の設置 LINEによる相談窓口を設置。また、相談員が女性相談に関わる必要

な知識及び姿勢等を学ぶとともに相談員のメンタル安定のため研修 を実施。 (2)気軽に話し合える居場所の提供

- 不安や悩みを抱える女性が集い、悩みや不安を気軽に話せる場所を 提供。
- ※なお、事業を通じ生理用ナプキンを事業チラシとともに配布。

連携団体

NPOへの委託により、そのノウハウを活用し、行政だけでは手の届 きにくい支援を行った。また、事業をより効果的かつ広域的に実施 するため、庁内横断及び自治体間連携による周知を行った。具体 的には、本市各部署の窓口及び施設にチラシを配架して周知を行 うとともに、特定の対象(ひとり親家庭等)に対して重点的に周知を 行った。加えて、三重県及び近隣男女共同参画センターに周知を 依頼した。

事業の効果

1回で相談が終わる人もいるが、不安感が強く、繰り返し相談する 人もいる。本事業は年末年始以外無休で実施しており、いつでも相 談できるという安心感が相談につながっていると考えられる。また、 委託先のNPOと適官連絡を取り合っており、SNS相談の相談者を 四日市市男女共同参画センターの女性相談につなぎ、対応を行っ たケースや、「SNS相談」から「居場所の提供」につながったケース などがあり、事業の相互作用により困難を抱える女性へ寄り添うこ とができている。利用者からは感謝の言葉をいただいており、不安 軽減の場として有効に作用していると思われる。

今後の課題

市広報紙に度々掲載したり、チラシを市内の公共施設に配架したり するも、LINE友達登録者数があまり増加しなかった。潜在的なニー ズは確実にあると思われることから、必要時にすぐ相談につながる よう、広報の仕方を工夫していく必要がある。加えて、相談者が相 談ボタンを押しても応答がない場合もあることから、メッセージ配信 の内容を工夫しながら、相談する勇気を持ってもらうようにしていく。 こうした取り組みにより、様々な悩みや不安を抱える人に寄り添って いきたい。

事業の概要

- (1)SNSを活用した女性相談窓口の設置
- LINE及び対面による相談窓口を設置した。
- •相談窓口開設時間は午前9時~午前12時及び午後1時~午後4時。
- ・LINEでの相談受付は24時間対応。ただし、返信は相談窓口開設時間内とした。
- ・相談件数の増加に対応して、相談員を1名増員。相談員の資質向上及び、相談員自身のメンタル安定のため、研修を全3回実施。
- (2)気軽に話し合える居場所の提供
- ・不安や悩みを抱える女性が集い、悩みや不安を気軽に話せる場所を提供。開催回数は月1回。 ※なお、生理の貧困対策として、必要な人に生理用ナプキンを配布した。



